

商社では初 3GeV 高輝度放射光施設「NanoTerasu (ナノテラス)」有志連合に加入  
ビジネスデザイナーとしての「接点」を価値に ものづくりの課題を素材 (マテリアル) で解決

長瀬産業株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：上島 宏之、以下「長瀬産業」）は、2023年3月、宮城県仙台市で整備中の3GeV高輝度放射光施設「NanoTerasu (ナノテラス)」の有志連合に加入しました。有志連合は「コアリションメンバー」と呼ばれ、同施設の建設を目的とする加入金を支払うことで、世界最高レベルの放射光施設を自社および顧客の製品・技術開発のために活用することができます。

長瀬産業は、商社機能に加え製造・加工・研究開発などの機能を有するNAGASEグループ内および顧客を対象にコアリションメンバーのメリットである放射光施設の活用を促進することで、ものづくりの課題解決への貢献に取り組んでまいります。具体的には、NAGASEグループが取り扱うバイオ関連、食品素材、半導体向け材料や、顧客が取り扱う様々な物質の機能を可視化・評価することで得られたデータをもとに、新製品・新技術の開発を促進します。なお、商社としてのコアリションメンバー加入は当社が初めてであり、国内外の幅広い顧客ネットワークを通じて顧客のニーズを把握し、同施設の活用の提案・マッチングといった「接点価値」を提供することで、ものづくりの課題を素材 (マテリアル) で解決するNAGASEを目指します。

■3GeV 高輝度放射光施設「NanoTerasu (ナノテラス)」について

「NanoTerasu (ナノテラス)」は、国内既存施設の約100倍の光源性能を持つ世界最高クラスの放射光施設で、ナノレベルで物質の機能・性能を可視化することができる巨大な「顕微鏡」のような施設です。整備・運用は、「官民地域パートナーシップ」という官民共同の仕組みのもと、国の事業主体である量子科学技術研究開発機構と、光科学イノベーションセンター（代表機関）、宮城県、仙台市、東北大学、東北経済連合会の5者によるパートナーが担い、東北大青葉山新キャンパス内にて2024年度の稼働開始を予定しています。



「NanoTerasu (ナノテラス)」の活用により研究開発の仮説検証のサイクルを加速させることで、製品開発のさらなるスピードアップや新素材・新技術の開発が期待されます。

NAGASEグループは、ものづくりの課題を素材 (マテリアル) で解決することを通じて、グループビジョンである「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会の実現」を追求してまいります。

■「第9回 コアリション・コンファレンス」での当社講演について

「NanoTerasu (ナノテラス)」のコアリションメンバーおよび加入を検討する企業を対象としたコンファレンスにて、コアリションメンバー企業の取り組み紹介として長瀬産業による講演が行われます。

<概要>

開催日：2023年6月6日（火）10：00～（受付開始 9：30）

場所：東北大学青葉山新キャンパス 青葉山コモンズ2F大講義室

10：00～12：10 第9回コアリション・コンファレンス第1部（一般公開）

12：20～13：50 現場視察（会員限定）

14：00～16：00 第9回コアリション・コンファレンス第2部（コアリションメンバー限定）

当社講演テーマ：※上記「第9回コアリション・コンファレンス第1部」に登壇

ナノテラスによる商社における新しいビジネスデザイン ～独自のモノサシを用いた価値創造支援～

◆本件に関するお問い合わせ先

長瀬産業株式会社 <https://www.nagase.co.jp/>

<事業に関するお問い合わせ>

グループ製造業経営革新室

TEL：080-2287-3258

<報道に関するお問い合わせ>

グローバルコミュニケーション本部 広報室

TEL：03-3665-3640